# 訪　問　介　護　手　順　書

ご自宅に　{　8:30～9:00／13:30～14:00　8:00～9:00　}に訪問します、支援内容については以下の通りです

| 内　　訳 | 支　援　内　容 | | 留　意　事　項 | |
|---|---|---|---|---|
| ☑ 身体<br>火・木・土・日<br>（　60　分）<br>□ 生活<br>（　　分）<br>□ その他<br>（保険外）<br>（　　分）<br>☑ 乗降介助<br>月・水・金<br>（　30　分） | 月・水・金＝乗降介助<br>8:30～9:00<br><br>自宅（ベット上）より、車椅子に移乗し、車に乗降 | 火・木・土・日＝起床支援<br>朝の挨拶後、洗顔タオル・歯磨きセットの準備を行う。<br>洗顔・歯磨きはベット上で出来る所まで促す | 夫の支援により、朝食の提供・衣類交換等を行なってもらうが、支援が終わっているかの確認は必要、薬の服薬も確認する | 部屋の温度が適温である事を確認する。<br>洗顔タオル（温・冷）の希望を聞き、自分で拭いてもらう。歯磨きは義歯の為、最後に支援者の洗浄が必要 |
| | 共　・単／支援時間　10分 | 共　・単／支援時間　10分 | | |
| | 車中の座位安定の確認<br>気分の確認等、コミュニケーションを充分行う | オムツ交換　・陰部洗浄<br>尿量等を確認<br><br>衣類交換<br>火・日　は昼に洗濯支援有り | 支援者から積極的に会話を持ちかける。 | オムツ交換が出来る室温を確認し、オムツバケツ・洗浄容器・下用タオルを準備、支援者は手袋・手指消毒を直前に行う。<br>支援終了後は換気を行う |
| | 共　・単／支援時間　10分 | 共　・単／支援時間　15分 | | |
| | 透析室にて受付を行い<br>病院職員に引継ぎ終了 | 朝食の準備・配膳<br>1日あたり1600cal・水分800ml塩分7gの制限有り、cal計算を行い、ノートに記録する | 体重測定・血圧測定を行う為、報告すべき内容を病院スタッフに引き継ぐ | 摂取calは次の支援者がわかる様記載、水分摂取については食事時の水分も含まれる為飲水は氷等で満足度を高める。配膳は毎回決まった位置で、習慣付けを行う。クロック位置での説明 |
| | 共　・単／支援時間　　5分 | 共　・単／支援時間　20分 | | |
| | 月・水・金＝乗降介助<br>13:30～14:00<br><br>透析室へ迎え、特記事項を確認し、会計を済ませる | 服薬の確認<br>飲水の準備／薬は手のひら又は服薬しやすい様に本人に手渡す | 病院スタッフからの報告等、在宅で関わるサービス事業所が共有出来る情報として、報告する働きかけを行う | 食前・食後・食間の服薬はこまめに分けて整理を行い、本人・夫へも服薬の重要性を伝達して意識付けを行っていく |
| | 共　・単／支援時間　　5分 | 共　・単／支援時間　　5分 | | |
| | 車へ移動し、座位の安定を確認し、移動。車中気分の確認 | その日の1日の流れを説明し、体位等の確認・気分の確認を行い退出する | 行きとは違い、倦怠感等への配慮を行う。支援者からのしつこい話かけは禁物である | 次の訪問者・訪問時間等、わかりやすく説明、自宅での生活に自分が主役である意識付けを行い、決まり事を守れる（勝手に間食・飲水等をしない）様助言 |
| | 共　・単／支援時間　10分 | 共　・単／支援時間　　5分 | | |
| | 車から自室ベットへの移動、ベット（頭上）の高さ、安楽な体位を整える。次の訪問時間等を伝え気分を確認した後退出 | | 病院での食事量、摂取calをノートに記載してくる事。血圧・体重等の情報の報告があればグラフ等にしてわかりやすく記載する | |
| | 共　・単／支援時間　10分 | 共　・単／支援時間　　分 | | |
| | | | | |
| | 共　・単／支援時間　　分 | 共　・単／支援時間　　分 | | |
| | | | | |
| | 共　・単／支援時間　　分 | 共　・単／支援時間　　分 | | |
| | | | | |
| | 共　・単／支援時間　　分 | 共　・単／支援時間　　分 | | |

# 訪 問 介 護 手 順 書

ご自宅に（ 11:50～12:50 ）に訪問します、支援内容については以下の通りです。

| 内　　訳 | 支　援　内　容 | 留　意　事　項 |
|---|---|---|
| □ 身体<br>（　　分）<br>☑ 生活<br>（ 60 分）<br>□ その他<br>（保険外）<br>（　　分） | 洗濯支援を行います、洗濯機のコースは（標準コース40分）洗濯する物は訪問前に夫と仕分けを行ってもらう様助言して下さい。<br>共 ・単　支援時間 3 分 | 下着等はこまめに着替えて頂く様に助言。<br>陰部洗浄等で使用した下用タオル等は下洗いを行って洗濯機に入れる。<br><br>※本人の気分を確認しながら、車椅子へ移れる体調であれば、移ってもらいシーツ交換・ベットメーキングも行なっていく。 |
| | 掃除の支援を行います。<br>掃除の範囲は、本人の自室及び廊下（週3回透析通院の為に車椅子での乗り上げ等で汚染状況が著しい為）<br>換気しながら支援を行う<br>共 ・単　支援時間 30 分 | 本人が日常使用する車椅子・オーバーテーブル、ベットの柵等はアルコール消毒をして拭きとる。<br>身の回りの簡単な片付け等は気分によっては本人と一緒に片付ける、ベット下のほこりも注意<br>テレビの画面は静電気等からほこりが付着しやすくなっている為、洗髪用リンスを付けふき取っておくベット上での生活が長い為、気分良くテレビを見られる配慮 |
| | 買物は、訪問前に購入<br>訪問時の無駄を無くす為にも、訪問前に必要物品の購入を行う、会計は本人・夫・（権利擁護？）と領収書と照らし合わせて確認する。<br>共 ・単　支援時間 20 分 | 事前に購入物品を把握しておく。訪問前に本人宅の近所のスーパーで購入、日常生活用品の特売日（毎〇曜日）出来るだけ協力して、安く仕入れてくる。（日々のヘルパーから情報収集）本人・夫に必要な物品を挙げてもらうよう伝言板にて記載、本人への意識付けも同時に行う。 |
| | 洗濯物を干す。<br>直接肌に触れる衣類等は太陽にしっかり当てる様に干す取り込む等、夫の支援が仰げそうな場合も考慮し、夫が日常的に目に付く位置へ干していく<br>支援時間 5 分 | 上記支援中も同じであるが、本人に生活している意識付けを行なう為にも、次に何の支援を行うかの会話、希望等を常に伺い、本人達の意図で代理として行っている旨を理解してもらう。<br><br>シーツ等大きな洗濯をした場合は次のサービス訪問者（訪看）の協力を仰ぎ取り込んでもらう。 |
| | 気分の確認（さっぱりした感覚になれたか等）を確認し、退出。次の訪問時間とサービスを伝える事<br>共 ・単　支援時間 2 分 | 洗濯物の取り入れ等、次に申し送る事、夫に手伝いを依頼する事等を本人に話し連絡帳への記載を行う。 |
| | 共 ・単　支援時間 分 | |
| | 共 ・単　支援時間 分 | |
| | 共 ・単　支援時間 分 | |
| | 共 ・単　支援時間 分 | |

# 訪 問 介 護 手 順 書

ご自宅に（ 12:30 ～ 13:30 ）に訪問します、支援内容については以下の通りです。

| 内　　訳 | 支　援　内　容 | 留　意　事　項 |
|---|---|---|
| ☑ 身体<br>（ 60 分）<br>□ 生活<br>（　　分）<br>□ その他<br>（　　分） | 清拭を行います。血圧・体温ﾁｪｯｸを行い、気分の確認等世間話の中から変化を聞き取り、備品の準備を行います。<br>共 ・単　　支援時間　10　分 | バケツに適温湯・熱めの湯の2杯を用意、下洗浄容器、下用タオル2本、バスタオル、洗髪用紙オムツ2枚、シャンプー、着替え等の備品を準備し、室内の温度を確認します。 |
| | 洗髪を行います。<br>①フェイスタオルで輪を作り紙おむつをのせ、窪みを作る<br>②窪みに本人の頭を置いて、充分ぬらしたタオルで、髪をぬらしていく<br>③少量のシャンプーを介護者の手にとり、泡立ててから髪に馴染ませていく、頭皮を刺激するように指腹で軽くマッサージを行う。かゆみの訴えはないか？等の声掛け<br>④タオルで余分な泡を拭い、最後に携帯容器よりお湯を流す。髪にシャンプーが残らない様、何度も繰り返す。<br><br>※紙おむつは800～1200mlの水分を吸収します。<br>共 ・単　　支援時間　20　分 | 洗髪は気分の良い時に行って下さい。<br>ギャジベットは降ろし、水平な状態で行う。<br>首・背中等に流したお湯が入りこまないように紙おむつの角度を色々動かして、位置を決める。<br>本人がかゆみを訴えやすい様、洗髪に集中しないで、常に声掛けを行う事。<br>シャンプーの泡は、勢いよく泡立てると、ふき取りが大変です、少量のシャンプーで対応して下さい。<br>ふき取り時、シャンプーを残すと、かゆみが残ったり、皮膚疾患をひきおこしますので、必ず丁寧にふき取って下さい。 |
| | 身体清拭を行います。<br>①柵につかまって寝返りを行い、片方づつ清拭します。皮膚の状況を観察しながら、拭きあげていきます。<br>②窩下・肘関節・膝関節等の汚れやすい部分は念入りに行う<br>③陰部洗浄についても洗浄容器からお湯を流し洗浄していきます<br>共 ・単　　支援時間　15　分 | 柵を利用して右・左の側臥位を本人に行ってもらう。シャント肢に負荷をかけない様介護者で声掛けを行う。（本人に意識が薄い為）<br>（リラックス出来る配慮についての情報を集めます） |
| | 衣類・オムツ交換後の<br>汚れ物・使用備品を片付けます。洗濯機を回す場合はこの時に回しておく。<br>共 ・単　　支援時間　10　分 | 汚れ物等が多い時には洗濯機を回して、次の訪問者へ協力を仰いで下さい。10分前訪問を行い洗いあがった洗濯物を干してもらう伝達を各自で連絡する |
| | 水分補給（氷1かけ）<br>気分の確認等を行い、記録して退出。他のサービス事業者に連絡すべき事は記録ノートに記載。<br>共 ・単　　支援時間　5　分 | 連絡事項で、急を要する場合はﾌｧｯｸｽ等で連絡を急ぐ。 |
| | 共 ・単　　支援時間　分 | |
| | 共 ・単　　支援時間　分 | |
| | 共 ・単　　支援時間　分 | |

# 訪 問 介 護 手 順 書

ご自宅に（ 17:30 ～ 18:30 ）に訪問します、支援内容については以下の通りです。

| 内　訳 | 支　援　内　容 | 留　意　事　項 |
|---|---|---|
| ☑ 身体<br>（　　分）<br>□ 生活<br>（　　分）<br>□ その他<br>（保険外）<br>（　　分） | オムツ交換・排泄の確認<br>オムツ交換・排泄の確認を行ないます。<br>食事が出来る体制をとる（ベット上or車椅子で食堂へ）<br>本人に気分の確認を行い選択してもらう。<br>共 ・単　支援時間　10　分 | 下タオル・紙オムツの準備を行う。<br>出来るだけ寝食分ける考えで、食事時は車椅子への移動を声掛けする。 |
| | 食事の提供・見守り<br>夕食は、1日の最後の食事提供となる為、バランス良く提供出来ているか？を1日の献立を見て検討する。<br>食事の見守り<br>共 ・単　支援時間　40　分 | 1日の総カロリーを計算，塩分・水分量についても総量を確認する。<br>火・木・日の支援には、翌朝の朝食準備も行う（透析通院の為夫が朝食を提供する為）<br>配膳は必ず常に位置を同じにし、献立をクロック位置で説明をする。 |
| | 服薬の確認<br>飲水・薬を手渡し服薬を確認する。<br>共 ・単　支援時間　5　分 | 火・木・日の支援は服薬も夫の支援となる為、お膳の上に薬を用意しておく。飲水についてはコップ等に印をつける等、夫が理解しやすい方法で提供する。 |
| | 共 ・単　支援時間　分 | ※1日のサービス利用のうち最後の訪問者となります。1日やり残した事がないか？等、老夫婦との間に信頼関係を維持していけるような声掛け・配慮を行って下さい。また本人達が気疲れ等を起こしていないか等、介護職の専門として見極めるスキルを身に付けて下さい。 |
| | 共 ・単　支援時間　分 | |
| | 共 ・単　支援時間　分 | |
| | 共 ・単　支援時間　分 | |
| | 共 ・単　支援時間　分 | |
| | 共 ・単　支援時間　分 | |
| | 共 ・単　支援時間　分 | |